

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-018686
 (43)Date of publication of application : 17.01.2003

(51)Int.CI. H04R 1/02
 H04M 1/02
 H04M 1/03
 H04R 7/20
 H04R 9/02
 H04R 9/04

(21)Application number : 2001-200495

(71)Applicant : AUTHENTIC LTD
 TRIM TEC:KK

(22)Date of filing : 02.07.2001

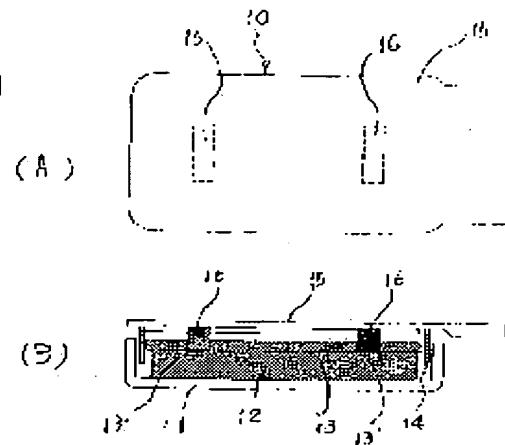
(72)Inventor : KOBAYASHI YUTAKA
 OKAWA YOSHIRO
 YOSHIDA TATSUO

(54) SPEAKER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a high performance small speaker.

SOLUTION: The speaker comprises a magnetic circuit formed of a yoke (11), a permanent magnet (12) and a plate (13), a voice coil (14) disposed in an air gap formed between the yoke and the plate of the magnetic circuit, and a sub-panel (15) for holding the voice coil. The sub-panel (15) is secured to a diaphragm also serving as the surface protective plate of a display and the plate (13) of the magnetic circuit is coupled with the sub-panel (15) through a damper (16).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-18686

(P2003-18686A)

(43)公開日 平成15年1月17日 (2003.1.17)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード*(参考)
H 04 R 1/02	1 0 2	H 04 R 1/02	1 0 2 Z 5 D 0 1 2
H 04 M 1/02		H 04 M 1/02	C 5 D 0 1 6
	1/03		1/03 C 5 D 0 1 7
H 04 R 7/20		H 04 R 7/20	5 K 0 2 3
9/02	1 0 2	9/02	1 0 2 C

審査請求 未請求 請求項の数 8 OL (全 5 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-200495(P2001-200495)

(22)出願日 平成13年7月2日 (2001.7.2)

(71)出願人 595077418

株式会社オーセンティック

神奈川県川崎市高津区二子5-17-1

(71)出願人 597140811

株式会社トリムテック

北海道美唄市東6条南1丁目5-1

(72)発明者 小林 裕

神奈川県川崎市高津区二子5-17-1 株式会社オーセンティック内

(74)代理人 100088786

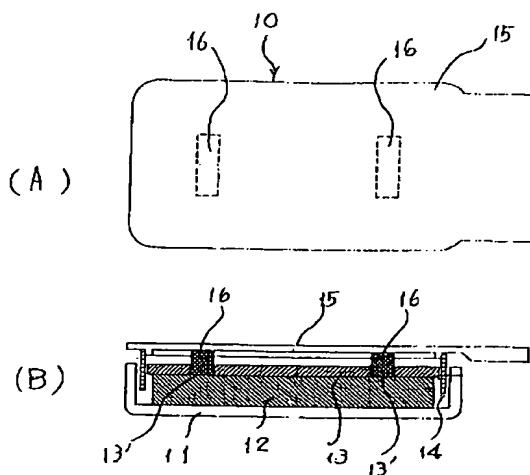
弁理士 横井 俊彦

最終頁に続く

(54)【発明の名称】スピーカ

(57)【要約】

【課題】小形、高性能なスピーカーを提供する。
【解決手段】本発明のスピーカーは、ヨーク(11)、永久磁石(12)およびプレート(13)から構成される磁気回路と、この磁気回路のヨークとプレートとの間に形成される空隙に配置されるボイスコイル(14)と、このボイスコイルを保持するサブパネル(15)とを備えている。サブパネル(15)は表示装置の表面保護板を兼ねた振動板に固定されると共に、磁気回路のプレート(13)とサブパネル(15)との間がダンパー(16)によって連結されている。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】ヨーク、永久磁石およびプレートから構成される磁気回路と、この磁気回路の前記ヨークと前記プレートとの間に形成される空隙内に配置されるボイスコイルと、このボイスコイルを保持するサブパネルとを備えたスピーカにおいて、

前記サブパネルは表示装置の表面保護板を兼ねた振動板に固定されると共に、前記磁気回路のプレートと前記サブパネルとの間がダンバーによって連結されたことを特徴とするスピーカ。

【請求項2】請求項1において、

前記ダンバーは前記プレートに形成された凹溝又は開口に嵌合されていることを特徴とするスピーカ。

【請求項3】請求項1において、

前記サブパネルと前記ダンバーとは一体に形成されたことを特徴とするスピーカ。

【請求項4】請求項1乃至3のそれぞれにおいて、

前記ヨークは前記表面保護板を囲む枠体に保持具を介在して固定されることを特徴とするスピーカ。

【請求項5】請求項1乃至4のそれぞれにおいて、

前記表示装置の表面保護板は、前記枠体に軟質の弾性体を介して支持されることを特徴とするスピーカ。

【請求項6】請求項1乃至5のそれぞれにおいて、

前記磁気回路とボイスコイルは矩形状を呈することを特徴とするスピーカ。

【請求項7】請求項1乃至6のそれぞれにおいて、

前記ボイスコイルは、ボビンレス構造を有することを特徴とするスピーカ。

【請求項8】請求項1乃至7のそれぞれにおいて、

前記表示装置は、携帯電話機の液晶表示装置であることを特徴とすることを特徴とするスピーカ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、スピーカに関するものであり、特に、携帯電話機など小型電子機器への応用に適した小型スピーカに関するものである。

【0002】

【従来の技術】携帯電話機などに設置されるスピーカは、高性能でしかも小型であることが要求される。本出願人の先願にかかる特開平11-331969号公報には、表示用パネルを振動板として利用することにより小型化を図ったスピーカが開示されている。また、特開平2000-334378号公報には、磁気回路の内側に振動板を兼ねたスパイラル状のダンバを形成することにより小型化を図る技術が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記本出願人の先願に係わるスピーカは、スピーカのヨークを振動板を兼ねる表示用パネルに固定しているため、電気／音響変換効率の点で必ずしも十分とはいえない。また、特開平200

0-334378号公報に開示されたスピーカは、音響発生用の振動板がダンバーも兼ねているため、同様に電気／音響変換効率の点で問題がある。従って、本発明の一つの目的は、小型でしかも電気／音響変換効率の高い小型スピーカを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記従来技術の課題を解決する本発明のスピーカは、ヨーク、永久磁石およびプレートから構成される磁気回路と、この磁気回路のヨークとプレートとの間に形成される空隙内に配置されるボイスコイルと、このボイスコイルを保持するサブパネルとを備えている。そして、サブパネルは表示装置の表面保護板を兼ねた振動板に固定されると共に、磁気回路のプレートとサブパネルとの間がダンバーによって連結されることにより、小型でしかも電気／音響変換効率の高い小型スピーカを実現するように構成されている。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の好適な実施の形態によれば、ダンバーがプレートに形成された凹溝又は開口に嵌合されることにより、厚みを増大させダンバーとの機能を高めるように構成されている。

【0006】本発明の他の好適な実施の形態によれば、ヨークが表面保護板ではなく、これを囲む枠体に保持具を介在して固定されることにより、さらに電気／音響変換効率の高い小型スピーカを実現するように構成されている。

【0007】本発明の更に他の好適な実施の形態によれば、表示装置の表面保護板がこの表面保護板を囲む枠体に軟質の弾性体を介して支持されることにより、振動板の効率の良い励振が行われるように構成されている。

【0008】本発明の更に他の好適な実施の形態によれば、上記磁気回路とボイスコイルを矩形状にすることにより、高い空間利用効率と、構造の簡易・低廉化とを実現するように構成されている。

【0009】本発明の更に他の好適な実施の形態によれば、上記ボイスコイルをボビンレスの構造とすることによって磁束密度を向上させ、大きな音声出力と高い電気／音響変換効率とを実現するように構成されている。

【0010】本発明の更に他の好適な実施の形態によれば、表示装置は携帯電話機の液晶表示装置であるように構成されている。

【0011】

【実施例】図1は、本発明の一実施例のスピーカの構成をこれが設置される携帯電話機と共に示す平面図

(A)、側面透視図(B)およびスピーカ10の部分拡大断面図(C)である。この携帯電話機Pは、キー入力部K、表示部Dを備えている。メッセージが表示される表示部Dは、液晶表示装置で構成されており、この液晶表示装置を保護するために透明なガラスやプラスチックを素材とする硬質の表面保護板Sが設置されている。こ

の硬質の表面保護板Sは、この実施例のスピーカの振動板として利用され、その端部は樹脂など同じく硬質の素材で形成されるケースの周縁部に軟質の弹性体Uを介在させながら保持されている。

【0012】スピーカ10は、部分拡大断面図(C)に示されるように、携帯電話機Pのケースの周縁部に樹脂や金属などの硬質の素材から成る概ねL字形状の取付け具16を介して固定される。この取付け具16を除くスピーカの本体部分を、更に拡大して図2の平面図(A)と断面図(B)に示す。このスピーカの本体部分は、ヨーク(アウターヨーク)11、マグネット12、プレート(インナーヨーク)13、ボイスコイル14、サブパネル15およびダンパー16を備えている。

【0013】ヨーク11、マグネット12およびプレート13によって構成される磁気回路は矩形状を呈している。ヨーク11とプレート13との間に形成される空隙に配置されるボイスコイル14は、この空隙の形状に合わせて矩形状を呈している。このように矩形状のボイスコイル14を用いることにより、振動板として兼用される矩形状の表面保護板Sの端部に形成される矩形状の空間内にボイスコイルを高い空間利用効率のもとで配置できる。

【0014】この結果、同様の矩形状の空間内に円形状のボイスコイルを複数並べて設置する場合に比べて、簡易・安価な構造を実現できる。さらに、このボイスコイル14は、巻き枠を使用しないボビンレスのボイスコイルの構造を採用することにより、ボビンの厚みの分だけ空隙の寸法を減少させていている。この結果、高い磁束密度が実現でき、小型であるにもかかわらず、十分な音量と高い電気／音響変換効率が実現される。

【0015】ボイスコイル14の上端部は、サブパネル15の裏面に接着剤層を介して直接固定されている。サブパネル15は、ダンパー16を介してプレート13に連結されている。すなわち、ダンパー16の上面はサブパネル15の底面に接着固定されると共に、ダンパー16の底部はプレート13に形成された開口内に嵌合され、接着されている。このダンパー16は、ウレタンフォームなどの比較的柔らかな弹性体を素材として構成されており、主としてサブパネル15に励振される振動の不要な低周波成分を減衰させ抑圧する。

【0016】このダンパー16としては、例えば、株式会社イノアックコーポレーションから「ボロン」の商品名で発売されているウレタンフォームを使用すると、圧縮残留歪みが少なく、耐熱性に優れるという点で好適である。このように、プレート13に開口を形成することにより、ダンパー16の厚みを増加させると、ダンパーとしての機能が向上する。開口の代わりに凹溝を形成することによっても、ダンパーの厚みを増加させることができる。

【0017】サブパネル15は、ボイスコイル14をボ

ピンを介在せずに直接保持する保持機構と、このボイスコイル14が発生する振動をこのスピーカの振動板として利用する携帯電話機Pの表示部Dの表面保護板Sに伝達する振動伝達機構の機能とを兼ね備える。また、このサブパネル15は、図3に示すように、右端部分にボイスコイル14に接続されるリード線の端子(図示せず)を設置する端子板の機能も兼ね備えている。

【0018】図3は、本発明の他の実施例のスピーカの構成を示す平面図(A)と断面図(B)である。このスピーカもまた、図1に示す携帯電話機に、図1に示したものと同様に、携帯電話機の表示部の下端部分の内側に概ねL字形状の取付け具を介して固定される。従って、図1と図2に示したものと同一の構成要素については同一の参照符合を付している。

【0019】この実施例が図1の実施例と異なる点は、ダンパー16が、プレート13の中央部分に保持される平板状の中央部分16aと、この中央部分16aをサブパネル15の内側の周縁部分に連結する波形状の連結部分16bとから構成される点である。ダンパー16は好適にはサブパネル15と一緒に成形され、その素材としては、適度な弾性を有し、温度変化や耐候性に優れたエラストマーAR(アロン化成社製品)などが適している。中央部分16aの裏面に形成された円柱形状の突起がプレート13の表面に形成された円形の凹溝内に勘合され、接着されることによりダンパー16がプレート13に強固に連結される。

【0020】以上、本発明のスピーカを携帯電話機に取り付ける場合について説明した。しかしながら、本発明のスピーカは、携帯電話に限らず、他の適宜な小型の携帯用電子装置、あるいは据え置き用の適宜な電子装置に適用することができる。

【0021】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明のスピーカは、サブパネルが表示装置の表面保護板を兼ねた振動板に固定されると共に、磁気回路のプレートとサブパネルとの間がダンパーによって連結される構成であるから、小型でしかも音響発生効率の高いスピーカが実現されるという効果が奏される。

【0022】また、本発明の好適な実施の形態によれば、ヨークが表面保護板ではなく、これを囲む枠体に保持具を介在して固定される構成であるから、さらに音響発生効率の高い小型スピーカを実現される。

【0023】本発明の他の好適な実施の形態によれば、表示装置の表面保護板がこの表面保護板を囲む枠体に軟質の弹性体を介して支持される構成であるから、振動板の効率の良い励振が可能になる。

【0024】本発明の更に他の好適な実施の形態によれば、磁気回路とボイスコイルを矩形状にして空間利用効率を高めると共に、ボイスコイルをボビンレスの構造とすることによって磁束密度を向上させる構成であるか

ら、構造の簡易・低廉化、高出力化と高い変換効率が実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のスピーカの構成を、これを設置する携帯電話機の構成と共に示す図である。

【図2】図1の実施例のスピーカの本体部分を拡大して示す平面図(A)と断面図(B)である。

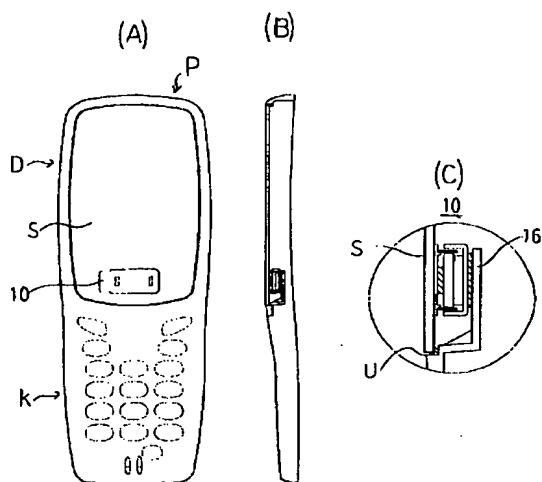
【図3】本発明の他の実施例のスピーカの本体部分の構成を示す平面図(A)と断面図(B)である。

【符号の説明】

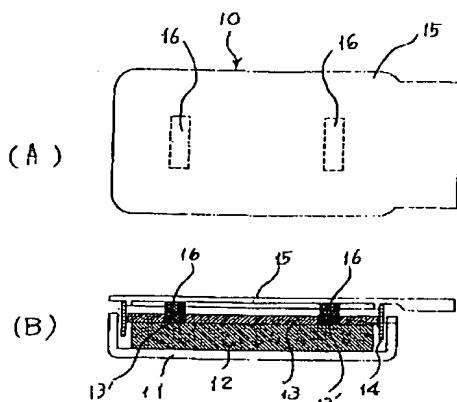
10 スピーカ

* 11	ヨーク
12	マグネット
13	プレート
14	ボイスコイル
15	サブパネル
16	ダンパー
P	携帯電話機
D	携帯電話機の表示部
S	携帯電話機の表示部の表示保護板(スピーカの振動板を兼ねる)
10	振動板を兼ねる)
*	K 携帯電話機のキー入力部

【図1】



【図2】



【図3】

